

感謝の気持ち、カードに

医療従事者の頑張りで学校祭開催

秋田美大付高生

新型コロナウイルスへの対応に当たる医療従事者に感謝の気持ちを伝えようと、秋田市の秋田公立美術大学付属高等学院の生徒が30日、市立秋田総合病院に自分たちでデザインしたメッセージ付きのクッキーを贈った。

毎年夏に行われている学校祭は昨年、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、今年はいま場所を家族に限った上で実施した。生徒会長の五十嵐さん（3年）は「開催できたのは医療従事者の方々が頑張ってくれているおかげだと思い、感謝を伝えたくった。お菓子を食べてほっと一息ついてもらいたい」と話す。学校祭で募金を呼び掛け、クッキーの購入費に充て

市立秋田病院に贈る



近藤さんがデザインしたカラフルなメッセージ入りシール



能登谷さん考案の「くろは」のイラストが飛び出す工夫を施したメッセージカード



生徒会執行部の左から能登谷さん、五十嵐さん、近藤さん。五十嵐さんが持つのは学校祭で使った「くろは」の募金箱

た。クッキーに貼り付けたカラフルなシールと手書きのメッセージカードには「いつもありがとうございます」との言葉が記し、今年の学校祭キャラクターである八咫鳥「くろは」のイラストを添えた。シールをデザインした近藤さんが「患者さんの治療や新型コロナウイルスの予防に気を使っ中、少しでも気持ちを和らげることができた」と話した。病院の担当者は「心のこもったメッセージとクッキーを頂き、職員一同感謝しています」と述べた。（櫻幸恵）